

日本にモノづくりを残していけるのか **TPM**

経営トップによる講演会・工場見学会

これからのモノづくりと経営者への



2025/1/21(火)
日産自動車株式会社
栃木工場

メッセージ2025 栃木 TOCHIGI

企業競争力を高めるための現場環境づくり ~ニッサンインテリジェントファクトリー~

講演・工場見学会
プログラム

8:50	宇都宮駅 東口バスのりば1番付近 集合 ○ 8:40~ 受付開始 ○ 日産自動車株式会社 栃木工場へバス移動
10:00~10:05	開会・案内
10:05~10:30	<p>オープニング講演</p> <p>「モノづくりを支える皆さん へのメッセージ」</p> <p>元 日産自動車 株式会社 取締役副社長 (公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM優秀賞審査員) 今津 英敏 氏</p> 
10:30~12:00	<p>基調講演</p> <p>「多様な人財が活躍できる日本のモノづくり現場 (Nissan production wayの実現)」</p> <p>日産自動車 株式会社 日本・ASEAN生産事業本部 専務執行役員 小幡 泰彦 氏</p> 
12:00~13:00	昼食(お弁当をご用意)
13:00~15:45	<p>工場見学会 (休憩・移動時間を含む)</p> <p>ニッサン インテリジェント ファクトリー 最新自動化技術とそれを支える仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● やりづらい作業の自動化と品質向上 ● 自動化に対応した保全技術とTPM活動 
15:45~16:30	<p>ディスカッション</p> <p>講演者と参加者との質疑応答・ディスカッション</p>
16:30	閉会 ○ バス乗車・宇都宮駅解散(17:30頃解散予定)

※ プログラム・時間は、現時点の予定です。変更の際は、公式サイトなどでご案内いたします

これからのモノづくりと経営者へのメッセージ2025 栃木 公式サイト

< https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2025_tochigi/ >



多様な人財が活躍できる日本のモノづくり現場 (Nissan production wayの実現)



日産自動車 株式会社
日本・ASEAN生産事業本部
専務執行役員

小幡 泰彦氏

目まぐるしく変わる競争環境や今後の日本の労働人口予測などを鑑みて、**多様な人財が活躍できる現場環境づくり**というのは競争力を高めるという観点でも必要不可欠であり、日産自動車では急ピッチで検討・実現を進めております。今回、**Nissan Production Way**の思想に基づいたモノづくり現場の取り組みや人財の育成について紹介させていただきます。

経歴	
1989年	日産自動車株式会社 入社
2003年	日産自動車株式会社 車両技術部 組立技術課 主担
2008年	日産自動車株式会社 栃木工場 工務部 第一技術課長
2010年	ルノー社 出向管理職
2013年	日産自動車株式会社 車両技術本部 新車準備統括部 主管
2016年	アジア・パシフィック日産自動車会社 SVP モノづくり
2019年	日産自動車株式会社 理事 追浜工場長
2021年	日産自動車株式会社 専務執行役員(現職) 日本・アセアン生産事業本部 グローバルオペレーションマネジメント 担当

オープニング講演

モノづくりを支える皆さんへのメッセージ



元 日産自動車 株式会社
取締役副社長
(公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
TPM優秀賞審査員)

今津 英敏氏

日産自動車栃木工場は、1984年6月に日産で初めて**TPM**を導入しました。本工場では、近年、**EV化・設備の高度化・人財育成の各課題**に対応すべく、「**ニッサン・インテリジェント・ファクトリー**」を構築してきました。この取組みをとおして、上記課題はどう解決されていくのか、これからチャレンジすべきテーマは何かを考える導入パートです。

経歴	
1972年	日産自動車株式会社 入社
1987年	日産自動車株式会社 工機工場工機設計部 主担
1993年	日産自動車株式会社 追浜工場工務部 主管
1999年	英国日産自動車製造株式会社 副社長
2002年	日産自動車株式会社 常務執行役員
2007年	日産自動車株式会社 取締役副社長
2014年	日産自動車株式会社 常勤監査役
2020年	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM優秀賞審査員(現職)

製造業を先導した経営者が語る日本のモノづくりの今後

- 自動車業界は、電動化やカーボンニュートラルへの対応により大変革期を迎えている。
- パワートレイン事業はどう変わっていくかなど、さまざまな変化を乗り切るために必要な準備はなにか？
- その中でモノづくりでの競争力を継続していくためのTPM活動の必要性と期待について語る

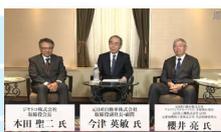
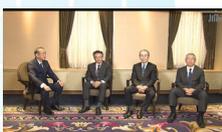
今津 英敏 氏の
ご講演内で一部をご紹介します

パネラー

- 今津 英敏 氏
元日産自動車株式会社 取締役副社長・顧問
- 本田 聖二 氏
ジャコフ株式会社 取締役会長、元日産自動車株式会社 アライアンスSVP専務執行役員 日本生産事業本部担当
- 櫻井 亮 氏
元日産自動車株式会社 アライアンスグループVP専務執行役員、元日産工機株式会社 COO、元愛知機械工業株式会社 代表取締役社長
- ※ 鈴置 智 (進行役)
公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 専務理事

映像構成

- 第1章
- イントロダクション(本企画趣旨、パネラー紹介)
 - 変化が進む自動車産業の注目ポイントとは ~モノづくりの現状と課題をとらえる~
- 第2章
- 急速に変化する自動車産業からみるモノづくりの現状と課題
 - 第1節 ~EV化の進展~
 - 第2節 ~設備の自動化・高度化~
 - 第3節 ~人財育成/設備の投資~
- 第3章
- 日本のモノづくり分野の競争力をこれからも維持・継続するために ~今後のTPM活動の必要性と期待~
- 第4章
- これからのモノづくりを支える経営者・幹部の皆さんへ



「ニッサン インテリジェント ファクトリー 最新自動化技術とそれを支える仕組み」

- ◆ 本企画には、工場見学がございます
- ◆ 講演いただいた具体的な活動をはじめ、さまざまな取り組みを紹介いただく企画となっております

やりづらい作業の自動化と品質向上

高度な自動化により、従来、作業者が部品取り付けの際に車の中に入ったり、車の下から中腰になりながら作業していた作業を完全自動化。また自動化とともに、車の位置合わせをカメラでの判定をもとに行うため、より精度の高い作業を実現し、品質向上にも寄与。



パワートレイン一括搭載システム

自動化に対応した保全技術とTPM活動

自動化に伴い設備の数が大幅に増加。それらに対応するため、保全のやり方を改善。リアルタイムの設備データ取得・蓄積による予知/予防保全の実施や、集中管理とリモートメンテナンスを組み合わせた迅速な復旧などを実施。また保全だけでなく、製造自らによるTPM活動も強化。



工場設備の集中管理室

現在、日本の製造業を取り巻く環境は、国内・外の多岐にわたる問題・課題と、それらが複雑化し、簡単には解決できない現状から、「日本にモノづくりを残していけるのか」という危機感が募っている。この日本の状況に対し、これまでさまざまな困難を乗り越え、日本の製造業の発展に貢献してきた実績ある経営者が、「従前の日本のモノづくりを振り返る」とともに、「現在の日本のモノづくりの問題・課題に対する考え方・展望」を語る

TPM

- Total Productive Maintenance の略称
- 1971年に、日本プラントメンテナンス協会より提唱(提唱から50年以上) → 日本電装株式会社(現在の株式会社デンソー)と日本プラントメンテナンス協会が協力して創設。徹底的なロス排除により、利益を生む企業体質へと変革した成功事例
- 「全員参加の生産保全」として、人や現場力を成長させ、生産システム上のロスを排除し、利益を生む体質に企業を変えていく活動

- ◆ 今回の企画では、「激変するモノづくり環境下での競争力強化」に焦点を当てる
- ◆ 目まぐるしく変わる競争環境や、今度の日本の労働人口の減少、設備の高度化など、「製造現場の環境は大きく変わりつつある」
- ◆ そのなかで、多様な人材が活躍でき、競争力を高める環境づくりに関して、「日産自動車株式会社 日本・ASEAN生産事業本部 専務執行役員 小幡 泰彦 氏」に基調講演としてご講演いただく
- ◆ 元 日産自動車株式会社 取締役副社長 であり、現在、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM優秀賞審査員 である 今津 英敏 氏 には、ニッサンインテリジェントファクトリーの構築をとおしてさまざまな課題をどのように向き合っていたかをご講演いただき、さらに、「栃木工場 インテリジェントファクトリーの見学」をとおして、具体的な取り組みをより実感していただく
- ◆ 参加者と講演者のディスカッションを設け、参加者の交流を深めていただく企画となっている

◆ 集合場所・時間について

「**宇都宮駅**」東口バスのりば1番付近
8時 50分 集合

- 受付時間は、8:40~となります
- 日産自動車株式会社 栃木工場は、車での入構はできません。宇都宮駅からの専用バスをご利用ください
- 注意事項の詳細は、別途ご案内する受付票にてお知らせいたします

◆ 工場見学時の服装について

- 長袖/長ズボン(スーツ可)
- 半袖やスカートなど肌が露出する服装はご遠慮ください
- 靴は安全靴でなくても可。ただし、ヒールつき、サンダルはご遠慮ください
- 帽子ならびに保護メガネは、日産自動車株式会社にてご用意いただけます
- 本イベント参加中は、喫煙できません。あらかじめご了承ください

◆お申込み方法

お申込みは、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会ホームページ内イベントサイトよりお申込みください

https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2025_tochigi/



お申込みは、**2024年12月20日(金)** 締め切り

※ ただし、お申込み多数の場合は、締め切らせていただきますので、お早目のお申込みをお願いいたします

- お申込み窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記WEBサイトよりお申込みください。
※ FAXでのお申込みはできません
- お申込みの際は、お申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込みください
- 開催日2週間前より、お申込み窓口ご担当者あてに請求書を送付(メール)いたします。2025年1月末日までに、請求書に記載の銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7日前の参加取消し：参加料全額
※ 2025年1月14日(火)よりキャンセル不可となります
※ キャンセル・変更は、以下URLよりお願いいたします。
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(<https://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください

◆参加料(税込み、昼食・テキスト・バス代含む)

会員価格※1 ￥44,000-/名

一般価格 ￥56,100-/名

TPM経営者懇話会会員※2 ご招待

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

- 参加料には、昼食・テキスト(資料)・バス代が含まれます
- ※1) 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(正会員・事業所会員)、もしくは一般社団法人日本能率協会(法人会員・協賛団体会員)の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください
・ 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・ 一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2) TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 経営者懇話会の会員であることが必要です
TPM経営者懇話会会員の詳細は、次項をご参照ください

- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます

TPM経営者懇話会 会員募集のご案内

(正会員・事業所会員企業の方：38,500円[税込み]、会員外企業の方：77,000円[税込み])

- 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会では、経営者・経営幹部の皆さまへ、最新のTPM活動の内容や、設備管理、人材育成に関する情報を発信する「TPM経営者懇話会」会員制度がございます
- 上記の情報発信のほか、当会開催の各種イベントに無料でご招待する特典もございます
- ご興味ございましたら、まずは下記のお問い合わせ先までご連絡ください。お待ちしております



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

普及推進部 TEL：0120-451-466 (または03-6865-6081) E-mail：EVENT@jipm.or.jp

これからのモノづくりと経営者へのメッセージ2025 栃木 公式サイト

< https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2025_tochigi/ >

